

平成 22 年 7 月 28 日
原子力安全対策課
(2 2 - 4 7)
< 15 時資料配付 >

敦賀発電所 1 号機の原子炉起動について (湿水分離器ドレンタンクからの蒸気漏れ)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所 1 号機（沸騰水型軽水炉；定格電気出力 35.7 万 kW）は、定格熱出力一定運転中の 6 月 10 日に、湿水分離器ドレンタンク*のマンホールフランジ面からの蒸気漏れが確認されたため、翌 11 日に原子炉を停止した。

調査の結果、フランジ面に挟み込まれたパッキンの締付け量が、漏れ止めに必要な量を下回っていることが確認された。

原因は、前回（H11 年、第 26 回定期検査）のパッキン交換作業において、工事要領書にパッキンの締付け量が規定されていなかったことにより、パッキンが十分に締め付けられなかった。このため、運転時の熱によるパッキンの締付け低下が重なり、蒸気漏れに至ったものと推定された。

対策として、当該マンホールフランジの工事要領書にパッキンの締付け量を規定する。この要領書に従い、新品のパッキンに取り替え復旧する。

※ 高圧タービンを出た蒸気の湿分を取り除く湿水分離器からのドレン水を受けるタンク

[平成 22 年 6 月 10 日、7 月 21 日 公表済]

当該マンホールフランジについて、パッキンの締付け量を規定した工事要領書に従い、新品のパッキンに取り替え復旧した。また、今回の事象を踏まえ、運転に支障を及ぼす可能性のあるマンホールフランジ（57 箇所）について、パッキンの締付け確認を行った。

これらの対策が完了したことから、本日夜に原子炉を起動し、翌 29 日臨界に達した後、30 日に発電を再開する予定である。

問合せ先（担当：神戸）
内線 2352・直通 0776(20)0314